

## 次号予告

### 特集 内部障害

いわゆる内部障害のリハビリテーション

.....国療東京病院名誉院長 砂原 茂 一

心筋梗塞の運動療法.....聖マリアンナ医大病院 山田 純 生

心筋梗塞の作業療法（病院期の日常生活動作訓練

について）.....聖マリアンナ医大病院 古沢 早 苗

急性期の呼吸障害の理学療法.....金沢大学医療技術短大 荻原 新八郎

とびら「白馬非馬」論は無用の論.....社会医学技術学院 下河辺 征 平

講 座 痛みの生理学 7. 鎮痛の神経機序.....東京医科歯科大 戸田 一 雄

プロGRESS 高血圧に対する薬物療法の現状.....名古屋大学 青木 久 三

リハビリテーション・ 稀少難病者全国連合会（あせび会）.....佐藤 エミ子

インフォメーション 全国重症心身障害児（者）を守る会.....井上 力

日本精神薄弱者愛護協会

日本筋ジストロフィー協会

あんでな リハビリテーション指定の労災病院の解説と病院一欄

.....九州労災病院 松村 豊子・他

資 料 第18回理学療法士・作業療法士

国家試験問題一模範解答（Ⅱ）

研究と報告 ある身体障害者授産施設に従事する入所生の

作業能力に関する一考察.....長野県身障リハセンター 斎藤 公二・他

## 編集後記

PT・OTの学会シーズン、凌ぎやすかった季節も終りいよいよ夏到来、梅雨入りを控えて読者の皆様いかがお過ごしですか。

老人保健法が制定されて今月の特集のテーマにある「地域リハビリテーション」は、ますます身近な問題となりました。

さてこの特集では、京都・堀川病院の早川一光先生に“地域住民の手によるリハビリテーション”をその永い実践を通して書き戴きました。またPTの立場から松橋一義氏に“地域リハビリテーションにおける理学療法士の役割”を、OTの立場から、工藤佳子氏に“精神科におけるデイケア”を、看護面から、池脇政子氏に“保健婦活動からみた地域におけるリハビリテーション”を、それぞれの地域・立場での経験を通じて筆をふるって戴きました。これらの文面からともすれば医療サイドに片寄り勝ちの我々に、医療後の問題の重要性をあらためて教えられる思いがします。

「通リゃんせ」でマスコミをにぎわした

早川先生のお話しを「兵庫県リハ協議会」にお招きしてこの特集と同様のテーマで、お話しを拝聴するチャンスを得ましたが、会場に詰めた、医療はもとより、心理社会・職業リハにわたる広い層のリハ関係者に一人漏らさず深い感銘をあたえたことは理屈を越えた、長期間の実践活動に裏打されたものがあったからに他ありません。

講座は「痛みの生理学 6.」が先月に続き相川貞男氏、野々垣嘉男氏・他と丸田和夫氏・他による研究と報告が2本、資料に第18回理学療法士・作業療法士国家試験問題一模範解答（Ⅰ）が加わって、盛り沢山な内容の6月号になりました。

投稿原稿も多様化し徐々ではありますが、数が増えて来ており、喜んでおりますが、大変良い内容を持っていないがまともなものでないものがあり残念な気がします。今後も積極的に御投稿いただきたいと思ひます。

（大喜多 潤）

### <編集顧問>

天 児 民 和  
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春  
埼玉県障害者リハビリセ  
ンター所長

砂原 茂 一  
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一  
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎  
川崎リハビリ学院長  
（五十音順、以下同じ）

### <編集委員>

上 田 敏  
東大リハビリ部

荻 島 秀 男  
ペインリハビリテーシ  
ョニクニック高島平  
整形外科

大喜多 潤  
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子  
都心身障害者センター

富 岡 詔 子  
信州大学医療技術短大

奈 良 勲  
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子  
筑波大学

松 村 秩  
都養育院リハビリ部

### <編集同人>

安 達 克 己

池 田 俊 雄

伊 東 元

宇都宮 初 夫

大 丸 幸

金 子 翼

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

木 村 信 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 馨 明

嶋 田 智 明

鈴 木 明 家

関 昌 明

高 橋 正 明

中 屋 久 隆

橋 元 隆

藤 沢 しげ子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

（担当 細田・西塚）